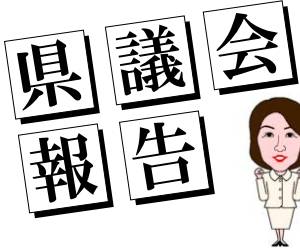


山田ともこ

女性の視点で、教育と福祉がつくる未来。



子育て
マツサイチュー



政策提案が実現へ!!

平成24年11月29日の定例県議会において山田ともこ議員が登壇し、政策提案を行いました。その内、長崎県平成25年度予算において実現した事業を報告します。

長崎県議会議員

山田朋子(2期目・41歳)

■佐世保市・佐々町・小値賀町選出

■総務委員会委員長

■離島半島振興特別委員会委員

発行：山田ともこ事務所

新規に実現した事業

病児・病後児保育 看護師訪問型システム整備へ

●子どもを持つ女性が安心して働くことができるように看護師訪問型による病児・病後児保育への助成に893万円を確保。今後、事業の進捗を見守りながら医療機関とも連携し、制度を充実させます。

ひとり親家庭への学習支援事業

●経済力が教育レベルにも影響する今日、その格差是正は重要な課題です。ひとり親家庭の子どもを対象とした学習支援ボランティア事業に264万円を確保。発達障害のある子どもの学習支援も拡充しています。

新生児疾患の予防 早期発見に全額公費負担へ

●タンDEMマス法(採血した血液で新たに13種類の代謝異常が一度に分かる検査)を公費負担で実施すると共に、新生児疾患の早期発見と適切な治療による突然死や障害の予防に1,500万円を計上しました。

先進教育の推進 教育ICT化推進事業 電子黒板・タブレットPCの導入

●電子黒板等のICTを活用し、子どもたちの学力向上を図るため、県立学校(5校)、小中学校(12校)をモデル校に指定し整備を行うべく1億4,000万円を計上。離島地域への遠隔授業も充実させます。

地域経済の活性化 カジノ誘致に関する調査研究へ

●カジノを含む統合型リゾート導入に係る経済効果と影響等について、県と市で構成する協議会を設置し、調査研究と専門的検討を開始します。そのための予算として840万円を確保しました。佐世保市ハウステンボスへの誘致について可能性を探ります。

板山トンネル建設促進

事業化に向けた調査へ

●1期目より住民の方々と共に取り組んできた世知原地区の板山トンネル。今回の質問で、「棕呂路トンネルと優先度を比較し、事業化に向けた調査に入る」との答弁を得ることが出来ました。裏面に詳しく記載。

防災基本条例を4月施行へ

総務委員長として議員提案を行い、条文作成にも取り組んできた防災基本条例案がまとまりました。県民の意見も反映させ、毎年7月を防災月間に設定します。

県内の防災について国民の役割や基本的な対応策を定める防災基本条例案がまとまった。昨年10月に示された試案に、毎年7月を「防災月間」と定め、子ども

毎年7月 県防災月間 基本条例案 まとまる

への防災教育・訓練の機会確保を真に義務付けることを追記した。
条例案は、県議会の山田朋子総務委員長が示した試案を基に、市町や識者との協議を経て修正した。県議会ホームページに掲載し、2月15日までパブリックコメントを実施中。2月定例月議会に上程し、4月施行を目指している。

新設した前文では、これまで想定していなかった地域でも大地震が発生する可能性のほか、玄海原発(佐賀県)で原子力災害が発生した場合には本県も大きな影響を受ける可能性が高いと強調。こうした大規模災害の被害を最小化するには、行政だけでなく、県民自ら防災対策を講じ、周囲

と互いに助け合いながら地域の安全を確保するのが必要とした。
県防災月間は県民に関心を高めてもらうため、諫早大水害(1957年)や長崎大水害(92年)が発生した7月に設定。このほか県の施策として子どもに対する防災教育・訓練の機会確保も追記した。
条例案は「みんなで取り組む災害に強い長崎県づくり条例」の名称で、県民や事業者、地域、行政の役割を明確化。観光事業者に旅行者の安全確保に努めるよう求めたり、離島半島の孤立対策推進を県の責務とするなど、本県独自の規定がある。(後藤敦)

紙面編集：坂本忠司

平成25年1月24日の長崎新聞より

県防災会議に女性の起用を!!

●24年11月29日の一般質問で提案した「県防災会議委員への女性、障がい者団体、高齢者団体、NPO関係者の登用」が条例改正によって実現することとなりました。防災会議委員65名中、女性3名という現状を改善できるよう引き続き取り組みます。

素晴らしい農林水産業、観光物産。民間企業と連携して 長崎県の魅力を世界へ発信します!!



25年3月1日～3日、単独上海へ 観光誘致、長崎産品の販路拡大を目指す。

●到着後すぐに中国東方航空本社へ向かいました。長崎～上海間の週3便化の実現と、世界全480路線の機内誌に長崎県の観光案内の掲載依頼を行うためです(写真①)。観光案内の掲載は実現が決まり、世界で唯一長崎県のみ無料で掲載となります。日中関係が冷え込む中で、長崎モデル構築の大きな希望となりそうです。表紙は佐世保の九十九島に(写真②)。3便化も日中関係の改善を条件に約束して頂きました。嬉しい限りです。当日は長崎県上海事務所長と新幹線・総合交通対策課長にも同行して頂きまし

た。日中両国の交流促進は、県内経済の活性化につながります。
●その後、開設23年目となる長崎県上海事務所へ(写真③)。職員の方々と意見交換しました。さらに中国初進出の高島屋も視察し、波佐見焼や吉岐焼酎の販売会にも参加しました。現地で県産品の販路拡大に取り組んでいる方々のご意見を伺うことができ、今後の県政に活かします。
●最終日は長崎鮮魚フェアに出席しました(写真④)。マグロの解体ショーは中国の方にも大人気で、プレゼンターを務めさせて頂きました。



3月4日、緑の羽根募金活動、地域の緑化と森林保全に役立っています。



2月～3月は政治を勉強するインターン生2名を受け入れています。

女性議員の連携推進!!

県内の女性議員で中村知事と女性力アップの施策について意見交換を行いました。



25年2月12日 女性議員と中村知事

地域の声を県政へ!! 対話集会を開催。

皆様の地元で県政報告会・座談会を開催させてください。県内の政策課題についてご報告を行い、疑問やご意見にお応えします。



25年2月16日 須佐町公民館



県政ニュースのポスティング

長崎県議会議員

山田ともこ事務所

〒857-0805 佐世保市光月町 8-20
TEL:0956-37-0058 FAX:0956-37-0078

山田ともこホームページ (ブログ更新中)

www.yamadatomoko.com

山田ともこ事務所

全駐労事務所1階

中佐世保

中部地区公民館
体育文化館

● 佐世保郵便局

至 市役所

35

至 佐世保駅

facebook

山田 朋子

検索

皆様からのご意見・ご要望をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。